

新日軽 花台サンフラワー窓花取付説明書

◆ 取扱い上の留意点

- この花台は組立完成品です。
- 取付け前に躯体の強度部材に花台が取付く事を確認して下さい。
- 人が乗ったり、腰掛けたりしないで下さい。
- 必要以上に物を乗せないで下さい。
- 事故防止の為、取付ネジは必ず規定のものを規定の本数で確実に締めて下さい。

◆ 強度 ————— 安全荷重 100 kgf/m²

◆ 鉢の種類 ——— 花台に入る鉢は7号まで使用できます。

◆ 取付方法

1. 花台の受金物の上端が窓台より15%の位置になるように水準器で横方向の水平を出し、受金物の位置を正確に出します。
2. 受金物をいったん花台から外し、径 5.1%・長さ75%の丸木ネジで躯体に受金物を取付けて下さい。

受金物で花台の荷重を支えますのでしっかり躯体に取付けられたか確認します。

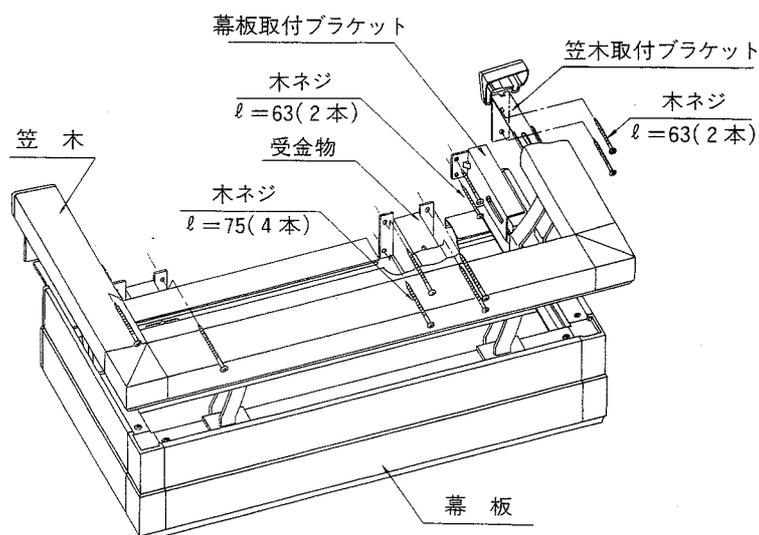
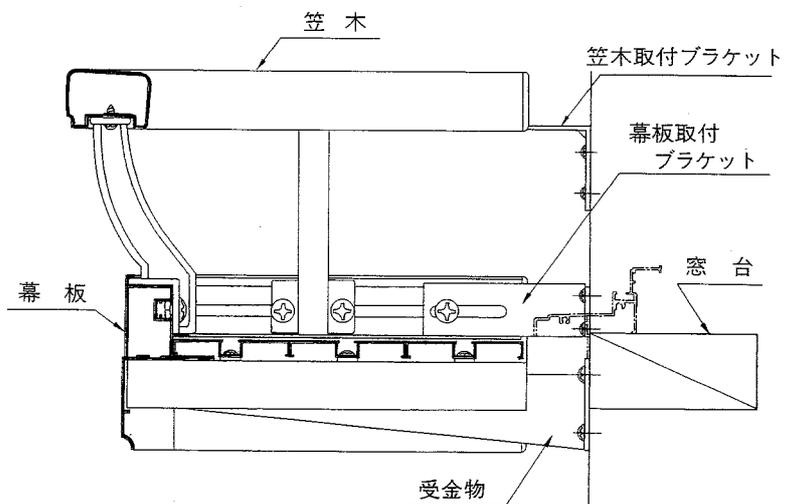
3. 受金物がしっかり躯体に取付けられたことを確認した後、花台を受金物に載せて下さい。

ここで笠木取付ブラケット及び幕板取付ブラケットの取付け位置を出します。ブラケットの出入りはビスをゆるめることによってできますので仮調整して、ブラケットを径4.1%・長さ63%の丸木ネジで躯体に取付けて下さい。

4. 花台の出寸法を調整し、花台と受金物を固定します。

次に笠木取付ブラケット及び幕板取付ブラケットを固定します。

5. 外壁仕上げは先付け及び後付けどちらでも可能です。納まりによって出寸法を調整して下さい。



木造住宅用アルミ製花台・手すり付花台 施工の手引き

■ 禁止事項ならびにご注意

- ⚠ アルミサッシの枠には、直付けすることはできませんので躯体付で施工してください。
- ⚠ 木造住宅用アルミ製花台・手すり付花台は、そのままではRC・鉄骨造ALC外壁には施工できません。
- ⚠ 花台・手すり付花台の切り詰め以外の改造は絶対にしないでください。

■ 花台・手すり付花台の組み立て・取り付け上の留意点

- 建築図面等から柱・管柱・間柱・窓台などの位置・寸法・外装材・下地材の寸法を確認してください。
- 付属の部品・ねじ、または指定された部品・ねじ類を必ず使用してください。
- 組立て説明書にしたがって組み立ててください。特にねじ類は確実に締め付けてください。
- ブラケットは柱位置に確実に取付けてください。
- 取付けの木ねじの柱へのねじ込み長さは、30mm以上になるようにしてください。(図-A 参照)
- 木ねじの取付け位置は、柱の端部にならないよう、また外装材の端部にならないようにしてください。(図-B 参照)

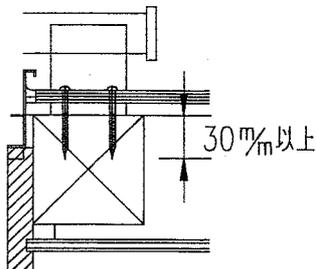


図 - A

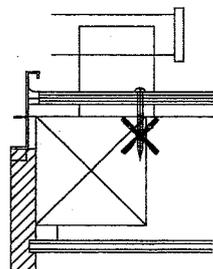


図 - B

外装材や下地材が厚い場合には、付属の木ねじでは、ねじ込み長さが不足する場合があります。このような場合には、メーカーのカタログ・説明書を確認するか、メーカーに問い合わせてください。

- ねじ止めは確実に締め付けてください。(図-C 参照)
- 外壁に下穴を明ける場合、柱まで穴を明けないようにしてください。ねじの支持力が激減します。(図-D 参照)
- 外装材に明けた穴には取付けブラケット類をねじ止める際、コーキング材を充填して漏水を防止してください。(図-E 参照)

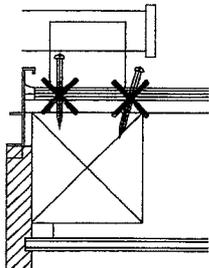


図 - C

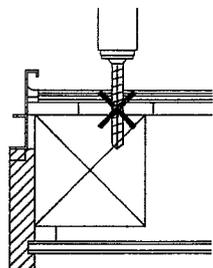


図 - D

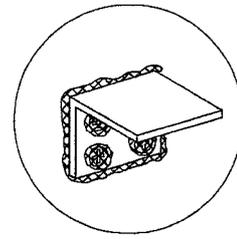


図 - E

- サイディング通気工法の場合、花台・手すり付花台の取付け位置に胴縁があることを確認してください。(図-F 参照)
- 発砲材を充填または貼り合わせた金属サイディングの場合には、その上から取付けしないでください。(図-G 参照)
サイディングがくぼんで意匠を損なったり、花台・手すり付花台のガタツキの原因になります。

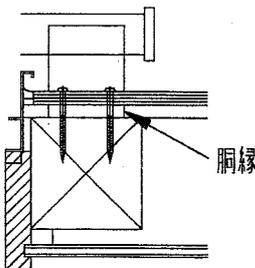


図 - F

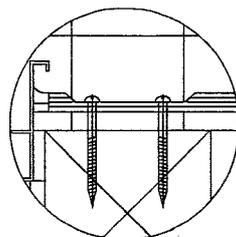


図 - G

あらかじめ胴縁下地材を入れておくように建築施工業者と相談しておいてください。

- 施工後、各部の締め忘れや緩みがないか、よく確認してください。
- 窓内側から、笠木を強くゆすり、ガタツキや緩みがないかよく確認してください。
- 検査される人は安全に十分ご注意ください。